

所 報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第186号 令和6年 8月 20日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

・ 江別市教職員夏期セミナー実施報告

江別市教職員夏期セミナー実施報告

教職員のスキルアップを目的とした江別市教職員夏期セミナーが、7月29日（月）、30日（火）、31日（水）の3日間にわたり実施されました。今年度も「今日的な教育課題への対応」や、「いじめ・不登校対策」、「ICT 機器の有効活用」等の6つの講座が開設され、各研修には各校代表の教職員に参加していただき、予定通り実施することができました。この場をお借りし、皆様からのご協力に対しまして、感謝申し上げます。

講座①の「今日的な教育課題」では、北海道立教育研究所の研究主幹 西島 進一 氏、山寺 潤 氏のお二人より、学習指導要領の取り組みに関する再確認、今日的な課題に対する現状についてのデータをもとにした紹介、業務改善につなげる若手教職員への支援方法、GIGA スクール構想の推進に対するヒントについて、分かり易くお話していただきました。参加者からは「教育課題を密度の高い充実した講義でわかりやすく提示していただき理解の深化につながりました。」「GIGA スクールの取り組みについて、次のステージに向けて何を取り組むべきかを考えることができました。」などの感想が聞かれ、大変有意義な研修となりました。



夏期セミナー第一講座の様子



夏期セミナー第二講座グループ討議の様子

講座②の「特別支援教育」では、道立特別支援教育センター教育課主査 奥田 裕幸 氏より、肢体不自由の児童生徒への支援の在り方や、子どもの主体性を伸ばすためには、自分の思いを伝えさせることが大切であり、そのためには子ども達の「思考・判断・表現」を伸ばす取組が重要で、「体験的な活動を通した言語概念の育成がカギになってくる。」等、お話をいただきました。参加者からは「難聴や肢体不自由についての講座を聞く機会が、あまりなかったので非常に興味深く、大変参考になりました。」「本人の立場になって捉える」の大切さを再確認しました。」などの感想が聞かれ、これからの実践に反映できる大変有意義な研修となりました。



夏期セミナー第三講座グループ討議の様子

講座③の「幼保こ小連携教育」では、幼保こ小連携教育の充実に向け、江別市として初めて幼保小中の教職員が一堂に会しての合同研修を持つことができました。北翔大学准教授 工藤 ゆかり 氏、元北翔大学教授 西出 勉 氏の二人の講師の先生には、連携した支援を進めていく上で、基本となる理論の説明や、直接支援につながる演習を設けていただくなど、参加した教職員の学びが、「深い理解」につながる研修をプロデュースして頂きました。

参加者からは、「実際に幼稚園や保育園の先生、中学校の先生の話聞いたことが無かったので、とても勉強になりました。」「グループワークでの異校種間の交流が知らないことばかりで、大変勉強になりました。このような視野や価値観を広げられる研修を、今後も続けて欲しいです。」などの感想が聞かれ、これからの実践に反映できる研修となりました。



夏期セミナー第四講座の様子

講座④の「GIGA スクール構想の推進」では、富士電機 ITソリューション株式会社のスクールアシスタント 中西 愛美氏より「現場で活用することを目的に、演習を中心とした講座を開設していただき、自動採点機能付きの小テストの作成方法や、評価における観点別傾斜配点機能アプリの使用法、ジャムポートに変わる意見交流アプリについて、学ばせていただくことができました。参加者からは「フォームの使い方が広がりました。」「評価に使いそうです。現場を意識した内容を教えていただけて満足できました。」「ICT が苦手な私でしたが説明がわかりやすく安心して参加することができました。」「新しい交流アプリは、ともだちの書き込みが見えない機能はとても有効だと思いました。欲しい機能だったので嬉しいです。」などの感想が聞かれ、各校の実践改善に反映できる大変有意義な研修となりました。

講座⑤の「スクールロイヤー」では、北海道文教大学教授 石垣 則昭氏より、トラブルから学校や教職員の身を守るために必要な法令についての説明や、実際に起こった事例をもとに、日常実践に生かすための対応の在り方についてお話しいただきました。参加者からは「具体的な事例をもとに、わかりやすく説明して頂きありがとうございました。教育マルチタスクについては、私が就職した37年前からずっと思っていたことでした。講義を聞くことができ、とてもうれしく感じています。」「石垣先生の話は全て裏表がなくわかりやすかったです。学校で働くうえで知らなければならないことばかりでした。学校に戻ったら資料を共有して、他の先生方にも見てもらおうと思います。」などの感想が聞かれ、これからの実践に反映できる大変有意義な研修となりました。



夏期セミナー第五講座の様子



夏期セミナー第六講座の様子

講座⑥の「いじめ・不登校生徒への対策」では、江別市教育委員会教育支援課 SSW 田村 千波氏より、基本に立ち返って SSW の役割や、児童生徒の理解に大切なバイステックの7原則を用いた教育相談の進め方などのお話をいただき、更に、事例を基に日常支援につながるグループ演習など、充実した講座を提供して頂きました。参加者からは、「お話しいただいた内容をもとに考えをアウトプットする場があり、事例も身近なものとしてとらえることができる研修になっていました。」「今日は具体的な対応まで聞けて良かったです。自分で考える場面や事例について協議する取り組みもあり、2時間があっという間でした。」などの感想が聞かれ、実践に直接反映できる大変有意義な研修となりました。

各講座の終了後に、講座内容に対するアンケートを実施しましたが、評価では（大変良かった、良かった、普通、あまり参考にならなかった、参考にならなかった：5段階評価）、「大変良かった」と「良かった」が全体の97%を超えるなど、高評価を得る研修となりました。また、講座への希望では、「ICT 機器の活用に関する実技講座は、これからも外せない研修なので、これからも計画して欲しい。」「スクールロイヤーの研修は複雑多様化するこれからの教育現場には必須。」「働き方改革の取り組みの参考となる研修の計画」等の意見もいただくこともできました。これらの意見については、次年度の計画に反映させ江別市教職員夏期セミナーが益々充実させられるように進めていきたいと考えています。